



Q₀ 岡義博法律事務所報 第32号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階

T E L (087) 821-1300

F A X (087) 821-1833

MAIL oka-law@kln.ne.jp

H P <http://www.kln.ne.jp/oka-law/>

あさましい

所 長 弁 護 士 岡 義 博

給食費を滞納している親が増えているという。小中学校で子供が食べる給食のことである。日本中の平均で児童生徒家庭の1%、金額にして22億円滞納という数字が文科省から発表されている。この滞納者のうちの3分の2は払えないから払わないのではなく、払いたくないから払わないのだという。滞納問題は新聞テレビでも大きく報道されているが、親の中には払わないでも逃げきれから、払うのは馬鹿だという発言をしている者もいるという。このような考えを持つ者はあさましいとしか言いようがない。心がいやしい人間である。目先の月4000~5000円の金を惜しんで何になるのか。

給食費滞納によって、給食の内容に影響が出ている市町村もある。給食費が不十分なため質を落としたり、量を減らしたりせざるを得なくなっているという。こうなると、子供の成長への弊害という問題も出てくる。

また、先生が給食集金のため時間をさいているという例もあるという。これでは、本来教育に向けるべき時間が削られ、子供の教育を受ける権利が害されることになる。

このような親の道徳心低下の原因について、戦後の学校における道徳教育の不十分さを挙げる向きがある。十分な道徳教育を受けずに育った人間が親となっているから、平気で不道徳な行動をとるのだという論法である。確かに、幼少時からの道徳教育は必要だろうが、道徳心が低下した原因は学校教育だけにあるとは思われない。社会全体の問題として考えるべきであろう。また、学校教育の中だけで、道徳を考えると、国に都合の良い道徳ばかりが強調されるおそれもある。

道徳心の向上は社会全体をあげての問題である。とりわけ、マスコミの役割は大きい。子供が幼い頃から接するのはテレビであるが、日々のニュースで凶悪な犯罪を放送したり、世俗受けする低俗な番組ばかりを流すと、それが当然のこととして幼児の中に取り込まれていくのではないか。このような事が何世代にもわたって続いてゆくと、道徳心を持った人間はごく少数になってしまうだろう。日々の番組が心豊か、心豊かなものになるよう念ずるばかりである。マスコミの良識に期待すること大である。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス(Themis …ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します)を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

法テラスの3つ目の重要な業務は国選弁護制度の運営です。

国選弁護制度の運営はこれまで、裁判所と弁護士会が行っていましたが、現在では法テラスが運営しています。そうはいっても、裁判所が全く関わらないわけではありません。国選弁護人を選任するのは裁判所ですから、選任そのものは裁判所がします。選任に到る人選の手続を法テラスがするという事です。これまで、この人選の手続は弁護士会がやってきました。

法テラスが運営するようになってからは、国選弁護人に選ばれるためには、弁護士は前提として、法テラスとの間で契約を結んでおく必要があります。国選弁護事件を受任するという契約です。かつては、国選弁護人をすすんで引受ける弁護士はほとんどいませんでした。国選弁護の登録をする弁護士はボランティアの気持ちで引受けていました。それでも、田舎においては、ほとんどの弁護士が国選弁護の登録をしていました。近年は、国選弁護登録者は少しずつ減少していたと思います。法テラスになってからも同じくらいの登録率（契約率）だろうと思いますが、長い目で見ると契約弁護士は増加するでしょう。

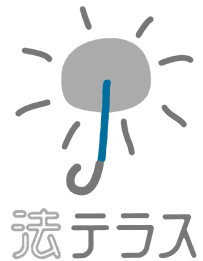
国選弁護人を付する事件があれば、法テラスから契約弁護士に打診があります。日程が合えば、この弁護士が受任することになりま

身近な法律シリーズ (32) と法テラス②

すが、合わなければ次の弁護士に打診していきます。どこかで受任する弁護士が出てきます。そうすると、その弁護士が受任するというので裁判所に連絡がなされ、裁判所が選任するというわけです。

報酬の支払いも、法テラスがすることになりました。これまでは裁判所から支払いがありましたが、この点も変わりました。法テラスに報告書を出さないと支払ってくれません。報告し忘れるとただ働きようになってしまいます。

法テラスができたことと直接関係はないですが、被疑者段階での国選弁護という制度ができ、これも法テラスが運営しています。国選弁護はこれまで、被告人段階（裁判所に起訴された後）だけだったのですが、平成18年秋から被疑者段階でも国選弁護がつくことになりました。もっとも現在は、重大犯罪に限られています。平成21年からは被疑者国選の対象事件が大幅に広がるので、弁護人の選任が大変になるでしょう。被疑者国選についても法テラスとの契約が前提となるので、その契約弁護士を増やしておく必要があるのです。



高松ウォッチング

事務局 E・O

先日、大阪在住の長女が転んで足を骨折し、松葉杖生活を余儀なくされた（ドジなヤツ）。

高松に帰り、安静にさせていたが、大阪に戻る用があり、帰ることになった朝の事。

列車の時刻を計算して、起きたつもりが、甘かった。負傷者というのは、3倍も4倍も準備に時間がかかるのだ。時間が足りない。

高松駅に着いたのが、発車7分前。車を障害者のパーキングにいれる。切符を買う為、私は走る。車のキーは娘に渡す。松葉杖も走る。ホームに着いたのが2分前。

必死で車両に乗り込む。マリンライナーの指定席は2階建て。娘は杖をつきながら、階下へ。私も一緒に荷物を持って降りる。

とその時、ビーとベルの音。

私「何？今の音！」

娘「発車のベル」

私「そんな訳ないやろー。発車案内ないよ」

娘「早く、早くー出なきゃー」

あわてて、上に上がって出ようとしたら、なん

と手動のドアが開かない。発車の合図が出て、ロックがかかってしまった。

ウワー～、発車してしまった。

私「車掌さんー。すみませんー。降りるんですー。開けて下さいー」

車掌さんはにらむ。私は、ドアをどんどん叩く。そこへ乗り遅れた乗客が走って来た。電車は2メートル進んで、止まった。ドアが開く。急いでホームに降りる。やれやれ。

「じゃーねー」と娘に手を振る私。電車はスタート。

しかし、この後、母娘を襲う悲劇を、二人は予期していなかった。

車内の乗客はみんなこの親子の一部始終を目にしていたのだ。娘に対する白い眼。

「乗らなきゃいいのに…」という声まで聞こえたそう（肩身が狭い）。

そのころ、ホームでは、私が騒いでいた。

「キーがない」車のキーは娘とともに彼方へ。全くドジなヤツ（私か）。

弁護士会の旅行

香川県弁護士会では、以前親睦旅行が行われていた。いつの間になくなってしまったが、私は入会以来ずっと参加していた。一番最初は入会した年（昭和59年）の山陰旅行。古いことなので正確に思い出すことはできないが、思い出に残っているのは香住のカニ、余部鉄橋、湯村温泉というところである。

湯村温泉は、夢千代日記の舞台として有名な温泉である。夢千代日記といっても若い人は知らないかもしれないが、吉永小百合が演じて評判だったのです。荒湯と呼ばれる100度近い源泉があり、湯煙がもうもうと噴き上がっている。温泉で茹でるゆで玉子や湯豆腐はたいへんおつなものである。街を流れる川では魚釣りもできるし（アユがいるらしい）、おばさんが洗濯もするというのんびりした温泉街である。一度行かれることをおすすめしたい。



余部（あまるべ）鉄橋は、日本有数の高さの鉄橋である。高さが41m長さが309mといわれて

いる。明治時代に作られたと聞くと驚きが増す。確かに見上げるばかりの壮観さである。突風にあおられこの鉄橋から列車が転落した事故があったのは、我々が行った時からだいぶ後のことである。



しかし、何といっても山陰はカニ。香住のカニはうまい。香住町は山陰の漁港である。兵庫県にある。松葉ガニの水揚げで有名。松葉ガニとはズワイガニのことで、福井に行けば越前ガニとなる。香住港で昼食に食べたカニは絶品。茹でたてをいただいたが、甘みがたっぷりで、その後もこれ以上のカニに出会ったことはない。もっとも値段もたいへんけこうで浜値で1杯2万円であった。あまりにおいしいので2杯買って帰り、家内と一緒に食べたが、2人で1杯食べて腹いっぱいになった。満足満足。

田舎の弁護士会も会員が増え、まとまりがなくなって、親睦旅行も自然消滅したのは寂しい限りである。（Y・O）

エトセトラ

セカンドライフと聞くと、リタイア後の生活を想像される方が多いと思いますが、今のセカンドライフはインターネット上にもあったりするのです。それは3Dバーチャル世界（仮想空間）にあり「セカンドライフ」と呼ばれています。2003年にアメリカから始まったのですが、現在は世界中で400万人以上の人々が参加しています。無料で参加でき、自由に自分を設定してセカンドライフの住民になることができます。現実と同じような世界ですので、犯罪や詐欺といった危ないこともあります。既に日本の企業で

事務局 T・I

も参加しているところがあり、試作品をセカンドライフで販売して反応をみたり、また、セカンドライフに土地を購入して、その土地の売買や賃貸によって収益を得ようとしている会社もあります。現在はまだ英語版だけですが、2007年中には日本語版の試験サービスが始まるそうです。日本での利用者数が伸びるかどうかというところですが、叶えられなかった夢を、セカンドライフで実現させてみても面白いかもしれませんね。

外部の方からの投稿です

YOUNG-MAN!

事務局 H・S

たまたま読んだ雑誌に「千円札で折った招き猫をお財布に入れておくと、お金がたまる!!」というような記事があり、折り方を調べていたら、違うものに遭遇しました。

その名も『ターバン野口』。千円札を折っていくと、野口英世がインド人に!

福沢諭吉や樋口一葉、外国のお札でも同じ

ようにできるそうですが、野口英世が一番インドっぽい顔でしっくりきます。お財布にこっそり忍ばせてはいますが、お金がたまるかどうかは分かりません…。

